

1週間後 ハチミツを採取

生徒会役員とボランティア部でハチミツの採取作業を体験しました。遠心分離機を回すと取り出し口からとろとろのハチミツが次々と流れ出します。ミツバチが巣箱から2～3kmの範囲で取ってきた蜜が集まり、1回で約40kgのハチミツを採取できました。



取れたてハチミツを味見！「うまーい」



佐元さんがハチミツを瓶詰



ラベルのデザインが決定！ラベルの貼り付け

瓶に貼り付けるラベルのデザインを生徒ひとりひとりが考えました。学校運営協議会がコンテストを実施し、全校生徒の中から2年生の和田詩夕さんのデザインが採用されました。11月4日（木）、生徒会役員とボランティア部が、出来上がったラベルを瓶に貼り付け、販売に胸を膨らませていました。



和田 詩夕さん

大崎町のいろいろな花の蜜から取れたことや、大崎中学校で作ったことを伝えたかった。採用され驚いたが、嬉しい！



朝市で大崎中学校屋上産のハチミツを販売

11月14日（日）、おおさきチャレンジ朝市で商工会の指導を受けながら販売を体験しました。130グラム入りを1個千円で販売し、用意した約300個が完売しました。生徒会役員が事前に作成したパネルには、活動の様子や今回のプロジェクトで学んだミツバチの生態、持続可能な社会をめざすにはミツバチが大切な役割をしていることなどを盛り込み、当日設置しました。



川越 月愛さん

大崎中で一からハチミツを作ることができたことや、朝市での販売体験で買いに来てくれた方と関わって、嬉しい。



田嶋 朋花さん

販売は初めてで緊張したが、買いに来てくれた方への対応など、社会に通用する力を今回のコミュニティ・スクールで学んだ。



佐元 和寿さん

今回の学びが、これから社会に出る生徒の役に立てば嬉しい。ハチミツは免疫力を高める効果があるので、コロナに打ち勝ってほしい。



吉留 海月さん

佐元さんからとても熱心に教えていただいた。今回のプロジェクトで新しく学んだことがあり、今後活かしていきたい。